

◆◆「新しい川崎」メール版◆◆

---2023年7月25日・第82号---

<目次>

●幸区で「維新政治」をテーマにした講演会が大盛況

■リニア工事認可追認 住民側「不当判決」控訴へ

▲ お知らせコーナー

☆2023年度教科書展示会(2024年度からの小学校教科書を展示)

☆7/29・30 かわさき演劇まつり「モモ」

☆7/30 学習会「図書館・市民館の指定管理者制度ってなあに？」

☆8/9 市民集会「市民館・図書館、指定管理にしちゃっていいの？」

☆8/12 報告集会「リニア訴訟の今後と工事中止への取組み」

★ 編集後記

●幸区で「維新政治」をテーマにした講演会が大盛況

幸区革新懇は、7月23日(日)午後1時半から第5回総会と維新政治をテーマにした講演会を行いました。

幸区では、4月の市議選挙で、維新の新人の女性候補がトップ当選し、驚きが広がっていました。

この日は、猛暑の午後でしたが、テーマへの関心は強く、50名を超える参加者がありました。

講師は、雑誌「前衛」8月号に「日本維新の会」についての論文を発表した小松公正氏(日本共産党政策委員会に所属)です。

小松氏のお話は、パワーポイントを柔軟に駆使して、参加者の興味をひきつけ、期待に応えるものでした。

維新の「伸長」をどう見るか。

日本維新の会の現在につながる形での発足は、2016年参議院選挙で、得票率は9.2%でした。

そして、2021年衆院選では、得票で2.4倍、得票率で8ポイント増やし、2022年参院選では、得票で1.6倍、得票率で5ポイント増やしました。

小松氏は、維新の「確実な前進、伸長」の背景に、「政治の閉塞状況の中に長期におかれた国民の政治意識」に着目し、5つの角度から分析をします。

- 1, 10年以上続いた「安倍政治」の強権・専断政治への国民の反発
- 2, 自民党政治に代わる対立軸の弱点～反共攻撃の影響と野党共闘の課題
- 3, 国民の声や要求が国政に全く反映されない政治、選挙への閉塞感
- 4, 日本維新の会の「既成政党をなで斬り」と「改革」アピールへの国民の期待
- 5, 大阪市民の多くの「支持」による維新の会の「躍進」の影響

この大阪の「躍進」の最大の理由は、大阪のメディア、特にテレビの肩入れがある。

維新に「未来」はあるか。

小松氏は、「維新の会への追い風はまだ続くが、けっして長くはない、」と語ります。

そして、風の変化を待つのではなく、維新の基本政策と政治行動を見すえて、圧倒的な有権者の共感と支持を得られる批判が必要になっている。

言葉やスローガンで、一刀両断にすることではなく、事実こそくしたていねいな批判と暴露が必要だ、と強調しました。

そして、最後に、「広範な国民が、明日の政治は変えられる、国民の声は確実に国政に届くという展望と希望がもてる政治状況を作り出そう」と呼びかけました。

※小松氏の最後のよびかけを聞いて、「これは川崎市政を変えることと共通している！」と思いました。

※小松氏のパワポの資料については、幸区革新懇にお問い合わせください。電話 080-5653-6196(坂内さん)また、雑誌「前衛」と「議会と自治体」8月号の小松論文をお読みください。

■リニア工事認可追認 住民側「不当判決」控訴へ

東京地裁 2023年7月19日、国とJR東海の言い分だけを認める

JR東海が東京・品川ー名古屋間で建設を進めるリニア中央新幹線の沿線住民ら249人が、工事実施計画の認可を取り消すよう国に求めた「ストップ・リニア！訴訟」で、東京地裁は7月18日、原告側の請求を棄却する判決を出しました。

リニア工事による環境破壊や輸送の安全性が争点になった初の司法判断として注目されました。市原義孝裁判長は、25回にわたる原告側や弁護団の意見陳述や弁論を一切取り入れず、国とJR東海の言い分だけを認めた「不当判決」を言い渡しました。

JR東海が申請したリニアの工事実施計画は、2014年10月に当時の太田昭宏国土交通相が認

可しました。

工事による水資源への影響や地盤沈下への配慮がないことに加えて「残土の処分先が具体的に明示されていない」など、ずさんな環境影響評価に基づく認可は違法だとして、沿線住民らは2016年5月に提訴しました。

リニア工事は危険がいっぱい

□川崎市民も、100名近い原告団が参加しています。それは、リニア工事で長期断水の危険性があるからです。川崎市の水源地、相模湖からの第二導水隊蜜(直径3.5m)の4m上をリニアのトンネルを通す工事が予定されているのです。

□東京や川崎・神奈川、愛知の都市部では、直径14メートルの掘削機で大深度地下(地表から40メートル以深)を掘り進める計画です。工事が始まれば騒音や振動が発生し、東京外環道のトンネル工事でおきた道路の陥没や住宅の亀裂と同じことが起きることが危惧されます。

□リニアの山岳トンネル工事で南アルプスの貴重な生態系が壊されるなどの原告側の指摘に対して、判決は「『自己の法律上の利益に関係のない違法』を主張するとし、(認可の)取り消しを求めることはできない。」と切り捨てました。

ストップ・リニアのたたかいは続く

原告側は判決後の記者会見で「国やJR東海の主張を丸写しにした判決だ」と批判する声明を発表。

「国交相の認可が適法であることを前提にして書かれた判決であり、この判断には納得できない」

また、弁護団共同代表の関島保雄弁護士は「掘削機の故障や残土の処分先が決まらないなどの問題で工事は大幅に遅れ、総工費は7兆400億円に増えた。

事前の調査や検討が不十分なまま進めた結果だ。ずさんな環境影響評価に基づいた認可の妥当性は全くない。」と、控訴することを決めています。

リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会は、さっそく、8月12日(土)2時から麻生市民館で、不当判決に抗議する報告集会を開きます。

▲ お知らせコーナー

☆2023年度教科書展示会(2024年度からの小学校教科書を展示)

1, 多摩市民館 7月21日から7月26日まで 10時から18時まで

2, 麻生市民館 7月28日から8月2日まで 10時から18時まで

※全会場とも、12時から13時までは閉室です。

☆第40回記念・かわさき演劇まつり「モモ」

7/29(土)11時・15時半

7/30(日)11時・15時半

多摩市民館大ホール

一般:3000円・高校生以下・障がい者 1000円

演出:大西弘記・制作:柳沢芳信

ミヒヤエル・エンデ「モモ」がドイツで初めて出版されてからちょうど50年

時間の節約、効率化が、人間に何をもたらすか・・・色あせることのないテーマ。

市内在住、「演劇は世直し」「一筋の涙」を標榜する大西弘記さんが、60名を超える市民とともに作り上げる圧巻の舞台。

主催:かわさき演劇まつり実行委員会/公財川崎市文化財団

共催:川崎市・川崎市教育委員会

<https://www.kbz.or.jp/event/theaterfestival-20230729/>

☆ 学習会「図書館・市民館の指定管理者制度ってなあに？」

7月30日(日)午後2時～4時

高津市民館第5会議室(12階)

問い合わせ 044-955-8477(岡田)

☆ 市民集会「市民館・図書館、指定管理にしちゃっていいの？」

8月9日(水)午後2時～4時

高津市民館第6会議室(12階)

参加費 500円

連絡先 090-6153-9566(岡本)

☆ 報告集会「リニア訴訟の今後と工事中止への取組み」

8月12日(土)午後2時

麻生市民館 第1会議室

連絡先 090-6108-6568(矢沢)

★ 編集後記

学校の夏休みがやってきました。子どもたちの顔も笑顔がいっぱい。

子どもたちが夏休みしかできない体験を通して、一まわり大きく成長することは、多くの方の願いでしょう。

でも、保護者にとっては、学習をしっかりさせなくて大丈夫だろうかの心配も尽きません。

学習塾では、夏期講習が大はやりで、家庭の負担が一気に増加します。

そして、近年は新たな心配の種が増えました。それは、物価高と子どもたちの食事です。

暑さにも負けない栄養価のある食事を用意したいけれど、すさまじい物価高騰が続くなかで、家計への負担が大変です。

7月17日の東京新聞の1面トップ記事は「物価高 不安の夏休み」の大見出しをつけて、「夏休みは、給食がなくなり、十分な食事があたえられない。」「夏休みは1日学童保育を利用するため、お弁当が必要で、食費が増す。」という保護者の声を紹介しています。

困窮家庭の支援に取り組むNPO法人キッズドアが、2022年11月に行った「子どもと食事」の調査では、「子どもに食べさせるために保護者の食事を減らしたり抜いたりした」との回答が49%にのぼりました。

それでも、ふだんの生活で「三食、食べている子ども」は68%でした。

そのうちの1食は、学校給食です。

「夏休み明けになると、すっかりやせた子どもが登校してくる。」という学校現場からの声も聞きました。

地域では、ボランティアでの「子ども食堂」が広がっています。

私の住む地域でも、夏休みに週1回のテンポで開かれ、子どもは無料、大人は300円でだれでも食べられます。

素晴らしい取り組みです。

同時に、やはり、川崎市政が、子育て世代への手厚い支援をすぐに開始すべきです。

そのためにも、この夏は、「学校給食の無料化を実現する署名活動」に取り組み、子どもたちの声、子育て世代のみなさんの意見や要求をできるだけ多く聞きとり、川崎市政に市議会に届けたいと思っています。(市古)

☆☆チェンジかわさき！☆☆

川崎民主市政をつくる会

〒211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

mailmag@newkawasaki.jp

公式ホームページ

<https://newkawasaki.jp>

☆☆チェンジかわさき！☆☆

配信を希望されない方は以下をクリックしてください。

自動的に登録を解除します。

https://my922p.com/User/cancel_mail/fMwwpqj4/tUxYq7AZLbIw?mail=akagixxx%40yahoo.co.jp

誤って登録解除した場合、以下までご連絡ください。

mailmag@newkawasaki.jp